

論文審査の結果の要旨および担当者

| | |
|------|---------|
| 報告番号 | ※ 乙 第 号 |
|------|---------|

氏 名 佐藤 直弘

論 文 題 目

Exploration of coping styles in male patients with head and neck cancer: a prospective cohort study

(男性頭頸部がん患者におけるコーピングスタイルの探索：前向きコホート研究)

論文審査担当者 名古屋大学教授

主 査 委員 曾根 三千彦
名古屋大学教授

委員 安藤 雄一
名古屋大学教授

委員 日比 英晴
名古屋大学准教授

指導教員 木村 宏之

論文審査の結果の要旨

今回、男性のみの頭頸部がん患者を対象として、Mental Adjustment to Cancer scale (MAC) scale の探索的因子分析を行い、男性頭頸部がん患者に特異的なコーピングスタイルについて検討をした。さらに、男性頭頸部がん患者に特徴的なコーピングスタイルと精神的苦痛（不安・抑うつ）との関連について前向きな検討を行った。MAC scale の因子分析を行った結果、3 つの因子が抽出され、それぞれ Negative Adjustment、Positive Adjustment、Abandonment と命名した。Negative Adjustment と Positive Adjustment は、他のがんの男女混合患者のコーピングスタイルと類似した項目から構成されていたことから、Abandonment が男性頭頸部がん患者に特徴的な下位尺度であることが示唆された。また、Abandonment と抑うつとの間に有意な正の相関が認められた。本研究は、男性頭頸部がん患者の心理的苦痛と関連する Abandonment、即ち、「放棄」或いは「投げやり」という特異的なコーピングスタイルを明らかにした。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 男性頭頸部がん患者に特徴的なコーピングスタイルが、パーソナリティに由来する可能性があることや、頭頸部がんの種類（パピローマウイルスが原因の中咽頭がん、扁平上皮癌など）により異なるコーピングスタイルが抽出される可能性も考えられる。また、女性乳がん患者を対象とした先行研究において、Abandonment と類似したコーピングスタイルが抽出されていることなどから、他のがん患者と比較検討の必要があること、さらには性差、飲酒・喫煙の有無、再建手術の有無なども重要な因子であると考えられるため、その関連性についても検討が求められる。
2. 本研究では、手術前に MAC scale を用いてコーピングの評価を行い、術前のコーピングスタイルが術後の精神的苦痛（不安・抑うつ）との間にどのような関連が認められるのかについて検討を行っている。近年、頭頸部がん患者のコーピングが治療の時期で異なるとの報告もあるため、コーピングを評価する時期を増やして継続的に測定を行ったり、患者の治療スケジュールに応じて評価を行う区切り方をアレンジしたりする必要があると考えられる。
3. 因子分析においては、因子の解釈が容易になることを目的として、できるだけ単純構造に近づくように因子の回転を行う。因子の回転の種類として、因子軸を直交させたまま行う回転を直交回転と、各因子軸を柔軟に回転させる斜交回転がある。また、因子分析を行った後、各因子の内的整合性を確認することを目的して、クロンバックの α 係数を求める。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

| | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|-------|
| 報告番号 | ※ 乙 第 | 号 | 氏 名 | 佐藤 直弘 |
| 試験担当者 | 主査 曾根 三千彦 | | 副査 ₁ 安藤 雄一 | |
| | 副査 ₂ 日比 英晴 | | 指導教員 木村 宏之 | |
| (試験の結果の要旨) | | | | |
| <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 特異的なコーピングスタイルに関連する要因について2. 評価スケジュールの問題点と展望について3. データ分析の基礎知識について <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、精神医学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p> | | | | |

学力審査の結果の要旨および担当者

| | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|-------|
| 報告番号 | ※ 乙 第 号 | 氏 名 | 佐藤 直弘 |
| 試験担当者 | 主査 曾根 三千彦 | 副査 ₁ 安藤 雄一 | |
| | 副査 ₂ 日比 英晴 | 指導教員 木村 宏之 | |
| (学力審査の結果の要旨) | | | |
| <p>名古屋大学学位規程第10条第3項に基づく学力審査を実施した結果、大学院医学系研究科博士課程を修了したものと同等以上の学力を有するものと学位審査委員合議の上判定した。</p> | | | |